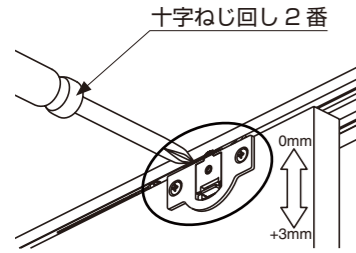
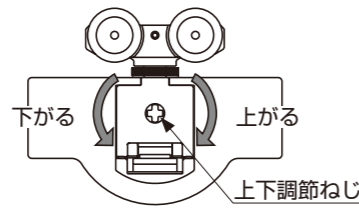


## 9. 扉の上下調整

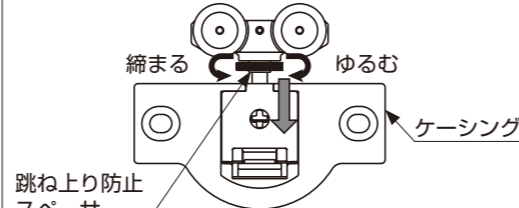


(1)上ローラーの上下調整ねじを調整方向に回してください。



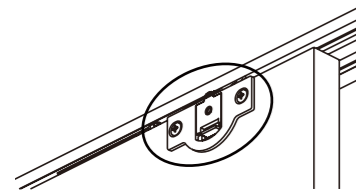
⚠ 上ローラーは出荷時は上下調整範囲の一番上の位置です。

(2)調整後、跳ね上がり防止スペーサーを指で回してケーシングの上面まで下げて締めてください。



⚠ 再び上下調整する際は、一旦、跳ね上がり防止スペーサーをローラーの下面まで上げてから行ってください。

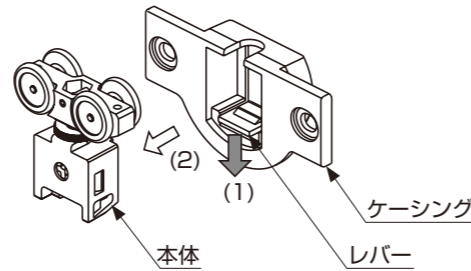
## ● 扉を取り外す場合



(1)上ローラーのレバーを押し下げてください。

(2)ケーシングから本体を引き抜いてください。

⚠ 扉の転倒にご注意ください。

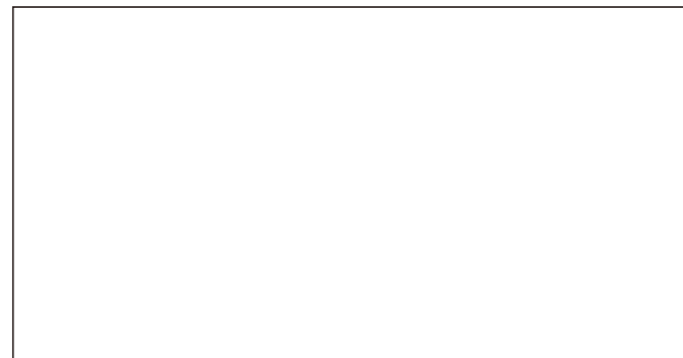


## ■ 困ったときの対応

症状	チェックポイント	対処方法
扉が途中で止まってしまふ	扉下面が底板にこすっていませんか？	上レールを取り付けているねじにゆるみがないか確認します。ねじがゆるんで上レールが下がっていたら、ねじを増し締めしてください。扉の上下調整を行い、適切な隙間に設定してください。
扉の開閉時に異音が発生する。	扉が隣接する箇所（キャビネット、引き違い扉など）とこすっていませんか？	扉がこすらないように修正します。下ガイドの調整ガイドの位置を再度調整してください。
	上レール内にゴミやアルミの切り粉がついていませんか？	上レール内を掃除し、異物を取り除いてください。
扉の開閉が重い。	上レールの取付ねじがゆるんでいませんか？	上ローラーがねじ頭にこすっていますので、ねじを締め直してください。
	扉が隣接する箇所（キャビネット、引き違い扉など）とこすっていませんか？	扉がこすらないように修正してください。
勝手に扉が開閉してしまう。	上レールが水平に取り付けてありますか？	キャビネット天板上レール取付溝加工が適切でないと、上レール内が狭まり、上ローラーとこする場合があります。天板の加工溝を修正してください。水平器を利用してキャビネットを水平に設置し、その後上レールが水平になるように取り付けし直してください。

## ■ 定期点検

- ・レール内の掃除を行い、ゴミ・異物などを取り除いてください。
- ・扉の上下の隙間を確認し、必要に応じて調整を行ってください。

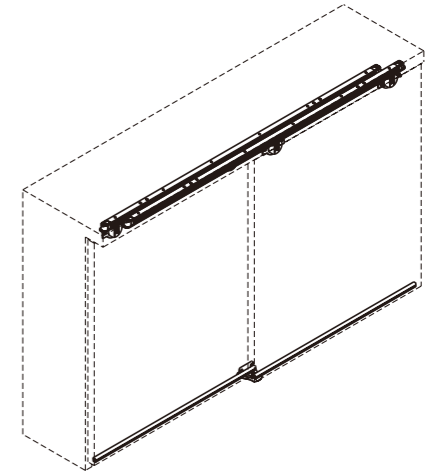


# 上吊式家具用引戸 SKDC12 かぶせ扉仕様 取付説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。作業前に本書をよくお読みの上、正しく取り付けてください。

⚠ **警告** 製品の取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うことがあります。

- 本品の取り付けは、本書に従って知識・経験のある方が正しく行ってください。取付方法を誤ると、本来の性能が発揮できないほか、破損などによる思わぬけがの恐れがあります。
- 本来の目的とは異なる使用方法や分解、改造及び本書に示す仕様以外の扉への使用はおやめください。仕様外の扉に使用したことによる事故、けがなどにつきましては、その責任の一切を負いかねますのでご了承ください。
- 扉の質量、開閉の衝撃に耐える強度の筐体を製作してください。強度の無い筐体は扉の動きを著しく低下させるほか、扉の脱落を引き起こすこともあり大変危険です。



引き違い扉三方かぶせ仕様

## ■ 本製品について

本製品は家具向けの上吊り引戸用部品です。上吊り式のレールとローラーにより、扉は軽い力でなめらかに動きます。

## ■ 仕様

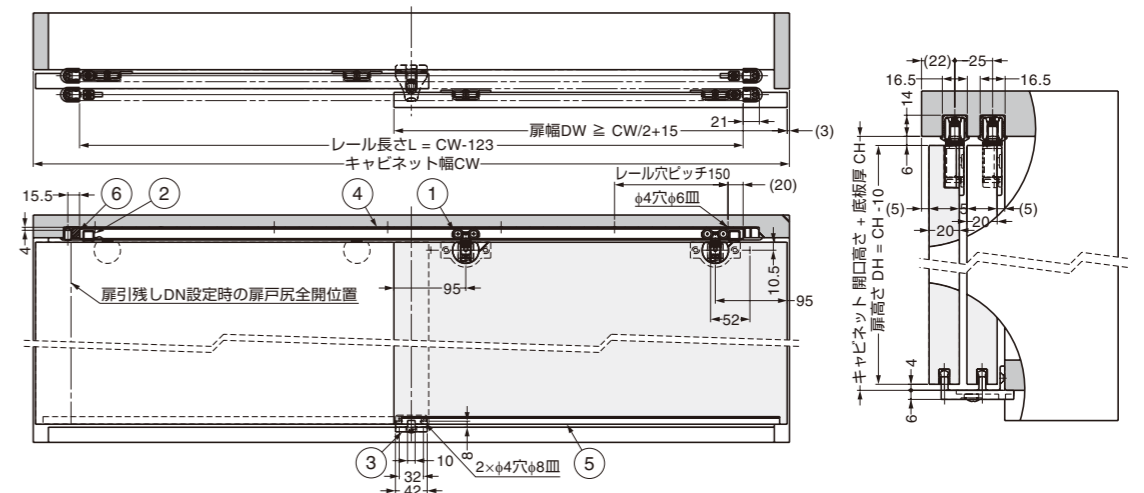
引き違い扉 三方かぶせ仕様	扉質量 (1枚当り)	扉厚	扉幅	扉高さ
	12kg 以下	15 ~ 20mm	900mm 以下	1200mm 以下

※アルミフレーム扉の場合は、アルミフレーム枠の部品構造により、取付可能な扉幅が異なります。

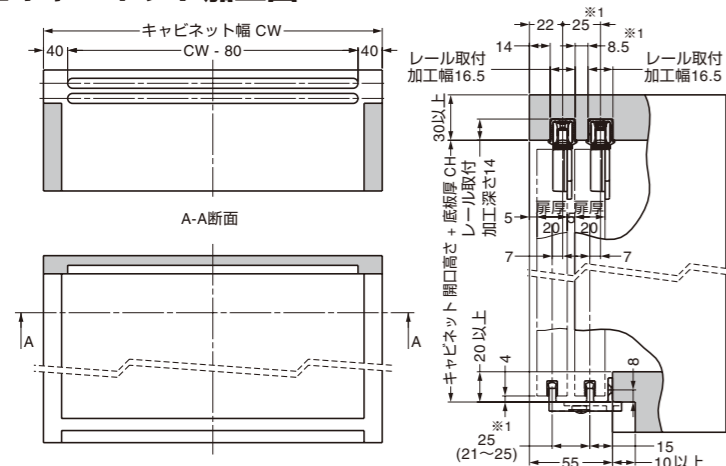
## ■ 構成部品

	① 上ローラー	② ストッパー	③ 下ガイド	④ 上レール	⑤ ガイドレール	⑥ エンドキャップ
付属ねじ (図1参照)	十字穴付低頭 (D8.3) タッピンねじ 4 × 16 2本		十字穴付皿タッピンねじ 3.5 × 20 2本	十字穴付皿タッピンねじ 3 × 12 取付穴数分		十字穴付皿タッピンねじ 4 × 12 1本
数量	4ヶ	4ヶ	1ヶ	2本	2本	4ヶ

## ■ 納まり寸法例

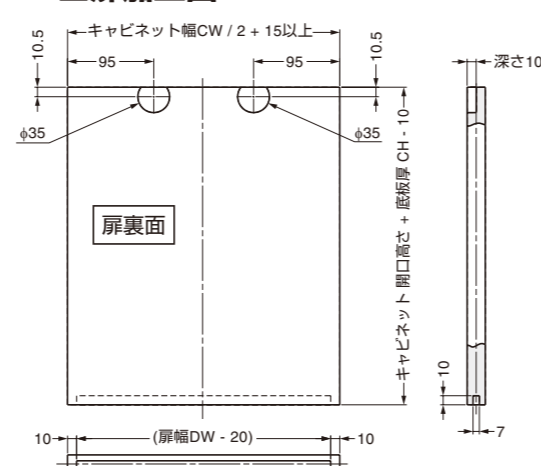


## ■キャビネット加工図

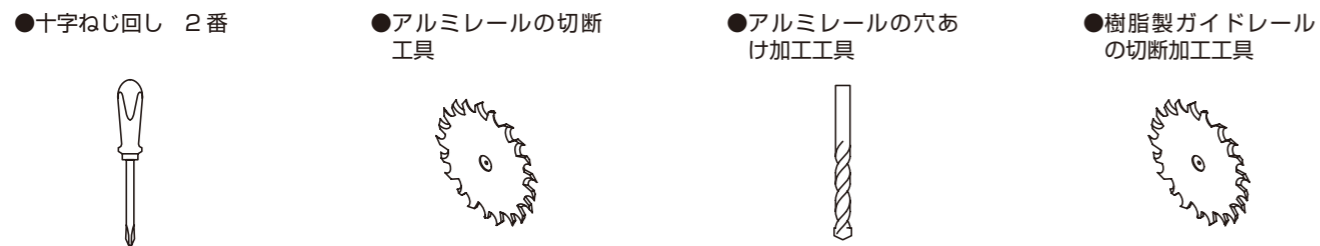


※ 1 図は扉厚 20mm の場合の寸法です。扉厚に応じ、適宜設定してください。

## ■扉加工図

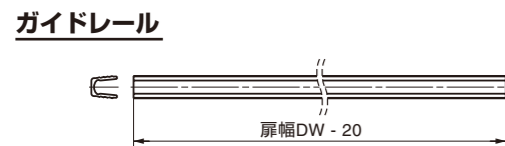
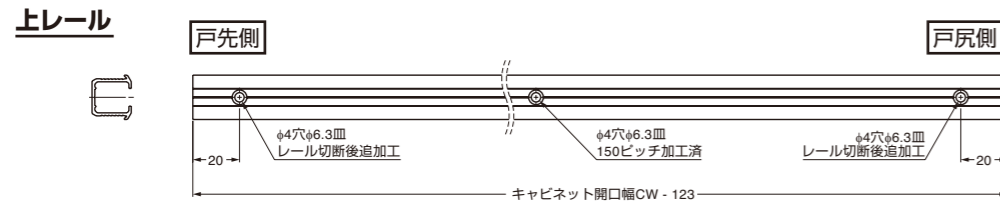


## ■使用する工具と準備していただくもの



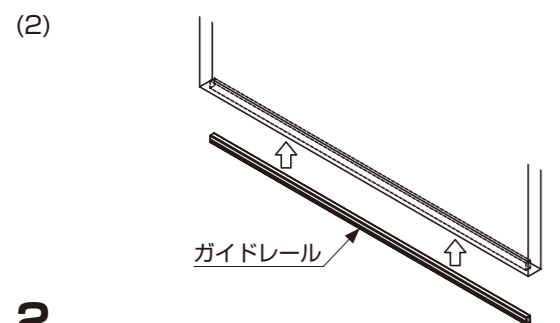
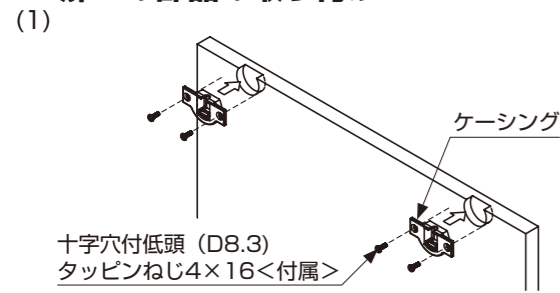
## ■組立手順

### 1. 上レール、ガイドレールの切断、穴加工

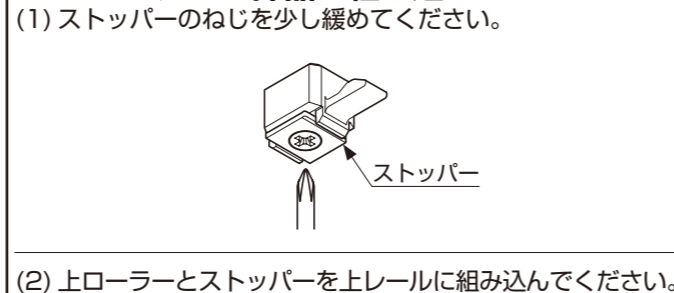


レールは切断部が変形しないように、補強材などを入れて切断してください。  
上レール内は、木材のかすやレールの切り粉などの異物をきれいに取り除いてください。扉操作時にゴロゴロ音が発生の原因になります。

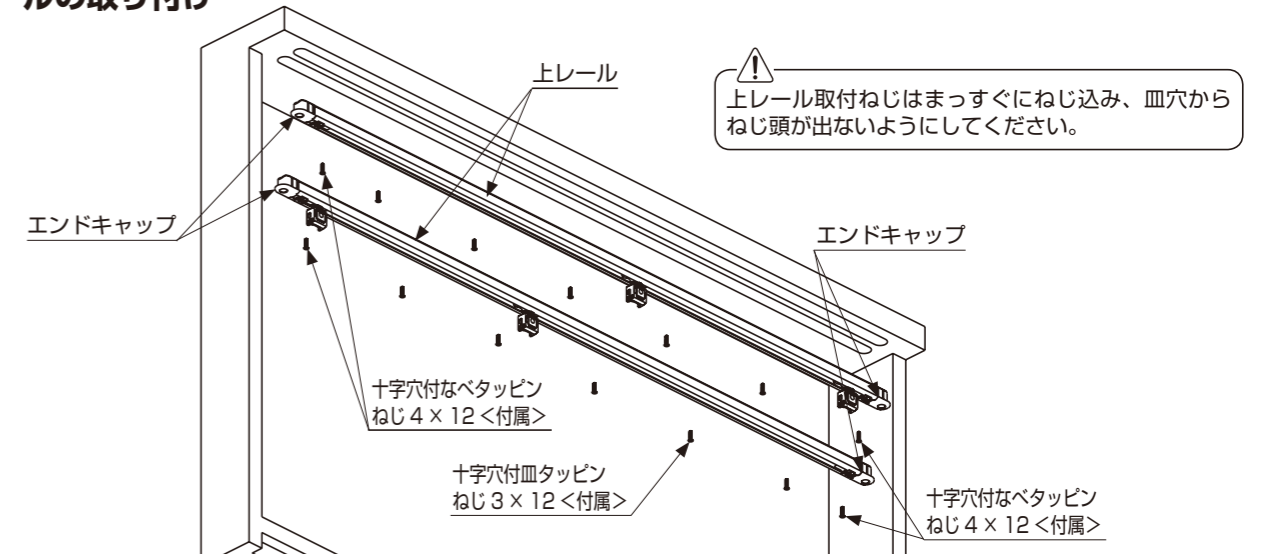
### 2. 扉への部品の取り付け



### 3. 上レールへの部品の組み込み



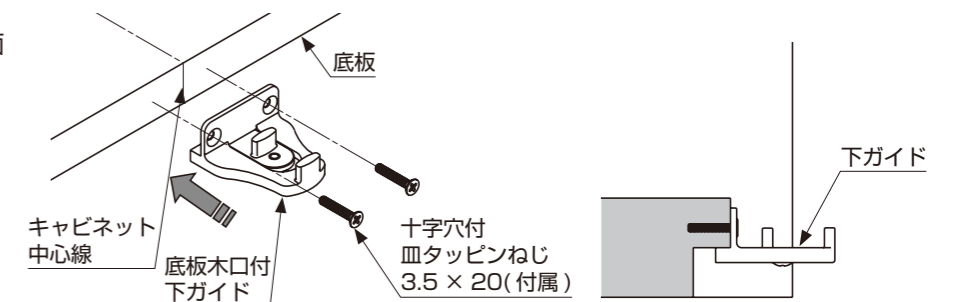
## 4. 上レールの取り付け



## 5. 下ガイドの取り付け

下ガイドをキャビネット底板木口面の中央下端に取り付けてください。

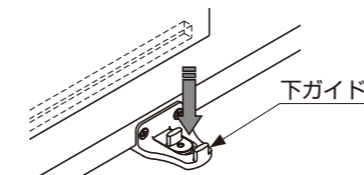
板が割れないよう下穴を開けるなどの処置を行ってください。



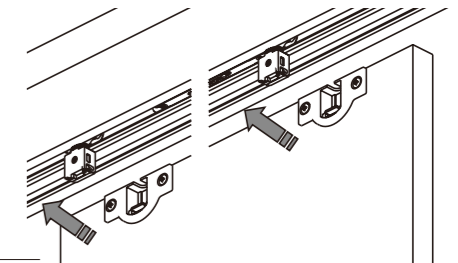
## 6. 扉の吊り込み

(1) キャビネット奥側の扉から吊り込みます。下ガイドの凸部に扉下の溝をはめてください。

(2) 扉裏面に取り付けたケーシングの凹部に上ローラー本体を押し込み、組みつけてください。



「パチン」という音がするまで押し込んでください。

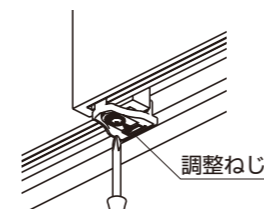


(3) 同様の手順でキャビネット手前側の扉も吊り込んでください。

## 7. 下ガイドの調整

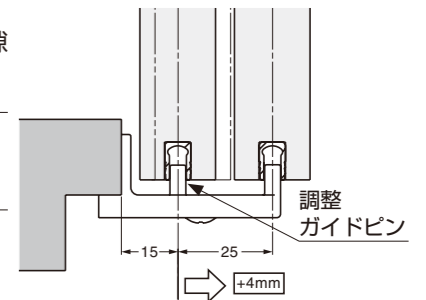
(1) 下ガイド底面の調整ねじを、ゆるめてください。

(2) 調整ガイドピンをずらし、扉厚に応じた扉間の隙間に調整ガイドピンの位置を調整してください。



(3) 位置が決まったら、調整ねじを締めてください。

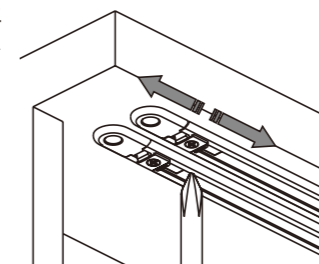
(4) 扉がスムーズに動くか、確認してください。



## 8. ストッパーの位置調整

扉が全開位置、全閉位置で止まるように、上レール内のストッパーの位置を調整します。

(1) 扉を止める位置 (ストッパーが上ローラーをキャッチする位置) でストッパーのねじを締めてください。



(2) 扉を止める位置でストッパーが上ローラーをキャッチしていることを確認してください。

